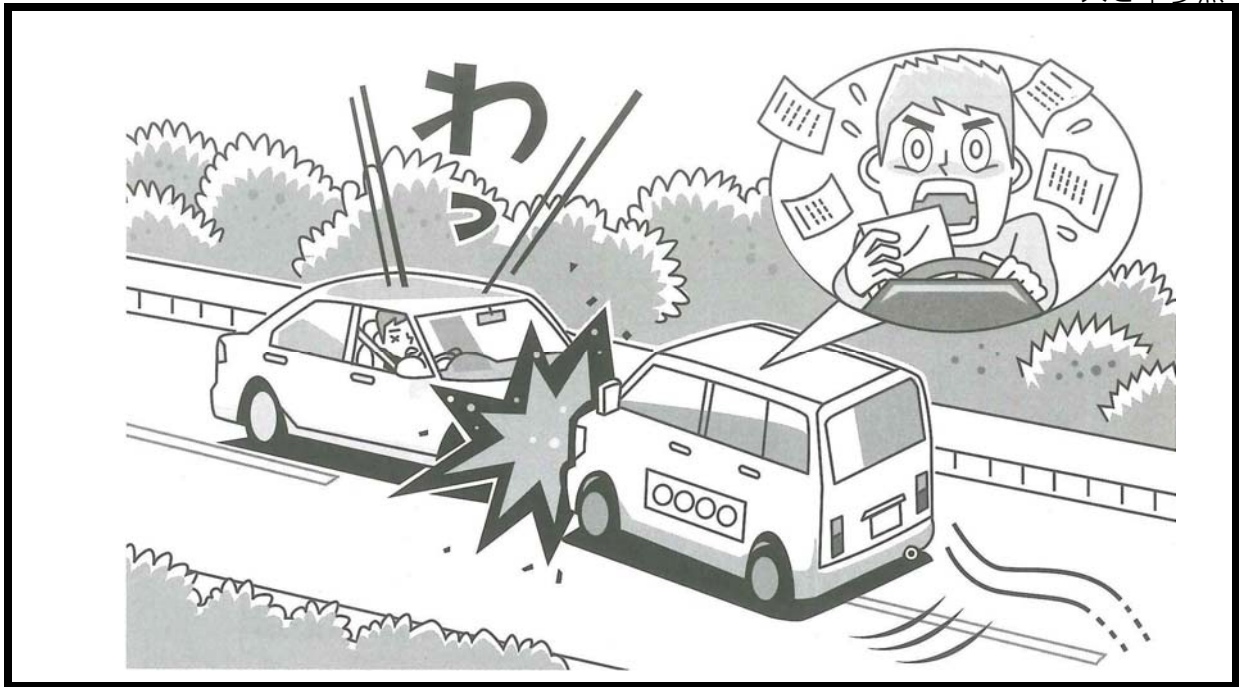


■事故の概況

人と車参照



事故類型：正面衝突

発生日時：秋 午前中

当事者A：軽貨物車 20歳代 男性

当事者B：普通乗用車 30歳代 男性

■ 事故の概要

Aは配送の工作中、幅員5.2mの道路を時速約40kmで走行していました。初めて走行する道路なので、伝票に記載されている住所と電信柱にある住居表示を照らし合わせながら運転していました。伝票を見るのも何回目かだった時、目線を上げるとA車は対向車線に進入しており、ちょうど対向車線を走行してきたB車と正面衝突しました。

■ 事故から学ぶ

Aはこの地区の配送担当になってから日が浅く、地理がよくわかってなかった為、日常的に脇見運転をしていました。いつもやっているから大丈夫という気持ちで脇見運転に対して危険性を低く見積もっていました。自分の進行方向から目を離すことは、「危険情報」を自ら遮断することと同じです。

どうしても伝票を見たり、地図を確認しなければならない時には、交通の流れを妨げない安全な場所に停車をしてから行いましょう。しっかり事前確認をすることにより、不安を抱えたまま運転するよりも精神的に安定した状態で運転することができます。